

2012/6/29
第 38 号
(24 年 6 月号)

しののめ

長野県総合教育センター通信



〒 399-0711 長野県塩尻市大字片丘字南唐沢 6342-4

TEL (0263) 53-8802 FAX (0263) 51-1290 E-mail kikaku@edu-ctr.pref.nagano.jp

次長兼総務部長あいさつ

長野県総合教育センター次長兼総務部長 酒井 貴篤

木々の緑が深く色濃さを増すとともに、総合教育センターは研修講座が本格的となり、教職員の方々はじめ大勢の来所者の活気に満ちています。当センターは、昨年度主催事業で延べ約 1 万 4 千人、県教委主催の講習や相談業務、施設開放等を合わせると延べ約 4 万 8 千人に利用いただきました。

御承知のとおり、昨年度行われた県の事業仕分けでは、教職員研修事業と維持管理事業がいずれも要改善の判定となりました。事業仕分け自体に議論はあるところですが、これを機に県民の目線からセンター運営や研修のあり方の検証、広報について見直しをしています。

「県民の目、県の教育課題を意識し、『県に採用されている自分』というより、『自分』と『県』とをもっと同位置で捉えるようになりました。」これは、5 月に実施した教職研修の終了後アンケートでいただいたご意見です。今年度「長野県行政経営理念」が策定され、県民起点で真摯に行動する、変化を恐れず挑戦する、責任感を持って主体的に行動する等が「価値観・行動の指針（バリュー）」として掲げられています。アンケートのご意見から、「行動の指針」を具体的に再確認させていただきました。

県民起点で行動する際には、発信力と共感力が必要です。特色ある研修講座の予定や施設利用促進などの広報を充実させるほか、研修講座においては私立学校の先生方への開放も考えています。発信する一方、先生方や広く県民の皆様からご意見をいただき、まず共感の気持ちを持ってお聴きしした上で議論、検討がなければセンター事業の発展はありません。一人でも多くの県民に知っていただき、また訪れていただくように。そしてセンターが作り上げてきた信頼やノウハウの基盤をさらに誇るべきものとするため、行政職として努力したいと考えています。



お知らせ

☆ 「追加募集する研修講座一覧」⇒ センターHP からご覧いただけます。

☆ 「信州 “Basic” 」⇒ 6 月 25 日(月)から、ご希望の方にさし上げております。

6 月 22 日(金)以前に当センターの研修講座を受講された方で、ご希望の方は、企画調査部あてご連絡ください。(電話：0263-53-8802)

※センターHP からダウンロードすることもできます。ご利用ください。

研修講座探訪

小学校5・6年国語基礎 ～「この単元をやるのが楽しみになった」～

6月15日に「小学校5・6年国語基礎」講座が行われました。

小学校5年生の教科書には、「グラフや表を引用して書こう」という単元があり、自分の意見を伝えるとき、適切なグラフや表を引用することによって、より説得力のある文章を書くことができる、という学習をします。受講された先生方は、「果たして自分が担任している子どもたちは、社会生活に対する意見自体を持っているのだろうか、そして、それに適したグラフや表を見つけ出すことができるのだろうか」と、「課題設定や取材」の視点から日常の子どもたちの姿を想起しました。そして、その子の状況によっては、具体的なグラフや表を提示してそれを基に考えを持たせることもあり得るといった、個に応じた支援の必要性を確認し合いました。

午後は、5年生の先生方は『わらぐつの中の神様』、6年生の先生方は『海の命』の単元展開をどのように構想するかについてグループで考え合いました。

子どもたちが課題解決的に取り組むことのできる、単元を貫く学習活動をどう設定するかについて、様々なアイデアを出し合いました。また、子どもたちが実際にどう反応してくれればよいか、という評価規準についても考え合うことができました。講座修了後のアンケートには、「この単元をやるのが楽しみになった」という言葉が書かれていました。

子どもたちの姿を思い描きながら、具体的な教材を通して真剣に考え合う……そんな先生方の姿は実に爽やかで、担当の専門主事も沢山のエネルギーをもらっています。



豪華天体ショーを体験しよう

1 「『金環日食』を見よう!」：平成24年5月21日(月)

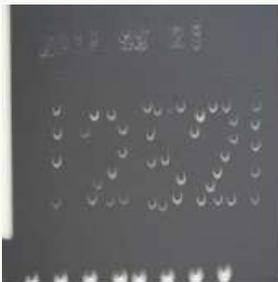


図1 紙に穴をあけた



図2 指を組み合わせた

日本中で話題となった金環日食。センターでは、日食めがねで見たり、15cm望遠鏡で太陽を直接見ること、ベイリービーズを確認したり、ピンホールを利用したりして(図1、図2)楽しみました。

2 「太陽面を横切る金星を見よう!」：平成24年6月6日(水)



図3 金星と黒点の比較

曇り空の中でしたが、午前中に2度、太陽が雲の間から見えました。日食めがねを通して、裸眼でも金星をはっきり見ることができ、黒点の大きさとの違いを確認しました。

図3は、太陽面を通過する金星と太陽の黒点です。これから見てもわかるように、円形の比較的大きな惑星が金星だと見て取れます。

3 これから見られる天文ショー

8月12、13日(日、月)：ペルセウス座流星群が極大。

8月14日(火)：朝の3時頃「金星食」が起こります。

—— 研修講座を振り返って ——

教職教育部が5月～6月に実施した研修講座から振り返ります

◇義務新任教頭研修

5月17日(木)～18日(金)に義務新任教頭研修が行われました。管理職のスタートから1ヶ月半を迎え、改めて教頭の職責を見返す機会となりました。第1日目は、県教育委員会事務局を中心に教頭の服務や心得について講話がありました。午前中、山口利幸教育長講話では、中間管理職としての心得を端的に4点話され、それらをバランスよく持ち合わせることを話されました。教育長の語り口に元気と勇気を与えられたと感想が寄せられました。次の義務教育課柳澤厚志主幹指導主事講話では、教頭が捉える目のつけどころは日常の些細なことからあることを事例を交えて教示されました。続いて午後は、心の支援室生徒指導係黒沢敏範教育主幹兼係長が、「不登校対策の行動指針」の改訂点や「生徒指導提要」を基に長野県の生徒指導の今後の展望を話されました。次に諏訪市立諏訪西中学校の池田秀司教頭による実践発表が行われ、教頭に求められるリスクマネジメントとして初期対応で正確に納得いくまで事実把握をすることが肝要で、それには冷静に平等に聴き取る姿勢が大切だと話されました。第2日目は、学校組織マネジメントについて講義・演習をとおして考えました。午前中、大阪大学大学院志水宏吉教授は、学力の構造を表した「学力の樹」、学力格差を示すデータ資料、「学力をつける7つのカギ」、学校運営に係る「効果のある学校の11の要因」、「スクールバスモデル」など具体的にイメージがしやすい形で説明され、長野県教育の喫緊課題である学力向上に資するマネジメントについて教頭先生方は理解を進めました。午後は日本女子大学坂田仰教授から、今、価値観が多様化しており、学校が“良かれ”と判断したことが、法に照らしてみるとき通用しないこともあることを学びました。がんばっている先生方を守るために法令のことも知っておかなくてはいけないことを多くの教頭先生方が再認識されました。

◆受講者の感想から◆

教頭という立場の大変さと責任の重さを学び感じ取れました。「24時間教頭」という言葉が忘れられません。しかし、それを肝に銘じなければと思います。

◇10年経験者研修「教職研修Ⅰ（小）」、「教職研修Ⅰ（中）」、「教職研修Ⅰ（高）」

5月25日(金)に小学校、6月1日(金)に中学校、5月31日(金)に高校の「教職研修Ⅰ」講座が行われました。当センター教職教育部長 大井基成 による挨拶及び講義「10年目の教師に期待すること」では、10年研の法的な位置づけ、服務と綱紀保持、長野県の教育課題の確認に始まり、組織の中でのリーダーシップ、教育法規の重要性、教師の在り方及び生徒の姿のとらえ方等、多岐にわたる話題提供がなされました。続いて、教職教育部専門主事が10年経験者研修のガイダンスを行いました。午後は信州大学全学教育機構講師 荒井 英治郎先生から、「学校組織における中堅教員の位置と役割」と題して講義をいただきました。不登校・いじめ・特別支援等の教育課題や教育現場の状況の10年間の変化をデータから読み解くとともに、見方によってデータの意味するものは変化することを指摘した上で、学校組織における中堅教員の位置付けや役割も、属する環境・組織によって変わり、唯一の解はないため求め続ける必要があるとお話されました。示唆に富む講義と豊富な演習に刺激を受け、自校や自身を見返す良い機会となりました。



グループ協議、個人作業で緩急をつけた荒井先生の講義風景

◇高校校長マネジメント研修

6月7日(木)に高校校長マネジメント研修が実施されました。開講式での当センター三村保所長の挨拶に続き、午前中は高崎市の飯野眞幸教育長から「教員の人材育成をどう図るか」、午後は国士舘大学・北神正行教授から「学校組織マネジメントとスクールリーダーの育成」と題して講義をいただきました。飯野先生は校長経験者として具体的な事例を挙げながら、校長のリーダーシップと人材育成についてお話されました。「良い授業ができる先生が増えると良い学校になる」という、授業マネジメントからのアプローチは大変印象的でした。

北神先生は研究者としての立場から、組織マネジメントの理論を基礎からお話いただき、ミドルリーダーの育成の意義についてお話されました。演習・協議を交えながら、組織改善と人材育成上の課題について、受講者がじっくり考えることができる研修となり、特に、新任の校長先生方から「1日有意義な内容であった」との感想をいただきました。

◆受講者の感想から◆

個からチーム・組織の活動につなげていく事が最も重要であることがよくわかりました。またミドルリーダーの育成の重要性も再認識でき、大変参考になりました。本校の先生方にも研修内容をフィードバックしていきたいと思っております。



演習での協議風景

どの子ども伸びる授業を目指して…

「授業のユニバーサルデザイン」～チェックシートの活用～

「授業のユニバーサルデザイン」「ユニバーサルデザイン的な授業」など、最近よく耳にします。特別支援教育が始まって6年目になりますが、その大きな変革は、通常の学級に在籍する特別な支援を必要とする児童生徒も特別支援教育の対象となるというものでした。

教室にこのような子はいませんか？

- ・ がんばっているのに成果が出ない子
- ・ がんばり方がわからず始められない子
- ・ 何かとうまくいかず自分のことが嫌いな子
- ・ 「誰もわかってくれない」と投げやりな子

※もしかしたら、背景に発達障害や人間関係における課題があるかもしれません。



「個のニーズに応じた教育」を目指すようになり、通常の学級の先生方は30～40人を一斉に指導する傍ら、個別の支援（パーソナルサポート）も行わなければなりません。そのような中で登場したのが「授業のユニバーサルデザイン」です。全体指導の中で、特別な支援を必要とする児童生徒もできるだけカバーしていく支援方法（ユニバーサルサポート）は大変有効であり、注目されるようになってきました。

先生が一人で抱え、行き詰っていませんか？

- (1) 支援体制を見直しましょう→「**チーム支援**」で
- (2) 子ども理解を深めましょう→ 発達障害の理解については「しのめ26号」（平成23年6月）参照
- (3) 授業の見直しをしましょう→「**授業のユニバーサルデザイン**」化

（例）ステップ1：全体指導（ユニバーサルサポート）の中でできるだけカバーする
ステップ2：理解度に応じて2グループくらいに分けて対応する
…例えば、プリントを2種類用意する[発展・基礎]など
ステップ3：必要に応じて個別指導（パーソナルサポート）を行う



「授業のユニバーサルデザインチェックシート」を活用してみませんか？

ノウハウだけでなく、ベースにある関係づくりや学習評価などを含めた確認シートを作成しました。「どの子ども伸びる授業づくり」のために役立ててみてください。

～すべての子どもがさらに伸びる授業を目指して～ **授業のユニバーサルデザイン チェックシート (試案)**

★「どの子ども伸びる授業づくり」のための確認シートです。加えたい項目があれば空欄にご記入ください。

- ① には・・・「今 大事にしている支援」の番号を ○で囲んでください。
- ② には・・・「これから意識して大切にしたい支援」をいくつか選び、実践してみてください。
- ③ には・・・およそ1カ月後をめどに、実践を振り返ってみてください。

	①	②	項 目	③
関係づくり	1		笑顔で子どもと接し、明るいあいさつや対話を大切にしている	
	2		服装や散髪など、子どものちょっとした変化に気づき、温かい言葉がけをしている	
	3		「居場所」「やりがい」「存在感」のある教室になるように心がけている	
	4		「責めない」「否定しない」「比べない」ように心がけている	
	5		日頃から話しやすい雰囲気づくりを心がけている	
授業の枠組み	6		「授業のルール」を年度当初や必要な時に子ども達の前で確認している	
	7		授業の開始と終了の時間を守るようにしている	
	8		授業の中に多様な活動を取り入れるようにしている (メリハリのある授業)	
	9		子どもが学習や課題に取り組む時間を十分に確保している	
	10		ペア学習や班別活動では、話し合いのルール・手順・ゴールを明示している	
教室環境	11		黒板まわりに余計な掲示物等がなく、すっきりしている	
	12		掲示物やカーテンがヒラヒラしないように気をつけている	
	13		机や備品が整然と並んでいる (下校後に整えている)	
	14		床にゴミなどが落ちていない	
	15		子どもの作品を大切に展示している	
学習環境	16		前時の黒板の消し残しがない	
	17		授業のはじめに、机上に必要な物がそろっているか確認している	
	18		「本時の流れ」や「活動のゴール」を示し、見通しが持てるようにしている	
	19		授業の流れを日毎に大きく変えず、見通しが持てるようにしている	
	20		配慮の必要な子どもには、座席配置を工夫するなど、授業に集中しやすいようにしている	
伝え方	21		大事なことは子どもの注意をこちらに向けてから伝えるようにしている	
	22		大事なことは板書等で示している (ページ、学習課題、手順、ゴール、学習のまとめ 等)	
	23		声の大きさやトーンを、伝える内容に応じて変えている	
	24		指示や説明は、短く具体的にしている	
	25		言葉だけでなく視覚的な提示を工夫している (写真、絵、図、表、グラフ、ビデオ、文字 等)	
板書	26		簡単な板書計画を作って授業に臨んでいる	
	27		文字を大きくしたり、行間をあけたりして、見やすさを意識して書いている	
	28		色チョークやアンダーライン、囲み等で、要点がわかるようにしている	
	29		ノートに視写する時間を確保するなど、子どもの動きを意識しながら授業を進めている	
	30		残しておきたい内容は模造紙に書くなど、次時を見通した工夫をしている	
意欲の喚起	31		子どもの発言やつぶやきを丁寧に聴いている	
	32		子どもが、発言や活動ができたときにほめ、認めている	
	33		係活動や当番活動には、「ありがとう」と言葉で感謝の気持ちを伝えている	
	34		間違えたりうまくいかなかったりする時も、意欲を認めるようにしている	
	35		解答が難しそうな様子の子どものには、ヒントを与えたり選択肢を設けたりしている	
評価	36		良い姿は、その場ですぐにほめるようにしている	
	37		授業や単元の終末に、良さを取り上げ認め合う場面を設けている	
	38		自己評価のできる工夫をしている (授業の終末や単元毎に・学期末や年度末に)	
	39		評価を本人・保護者にわかりやすく伝えている (具体例、実物、写真、映像など)	
	40		次への意欲につながるような肯定的な評価や声かけを心がけている	

今からでも間に合う研修講座(7月・8月開講の講座)

平成24年6月21日 現在

講座番号	講座名	対象	開始日～終了日	募集人数	講座PR
1 教科等研修					
3-1-01-04	小学校3・4年国語基礎B	小特	8月3日	7	学習指導要領には、授業作りの「肝」とヒントが満載です。具体を通して学びましょう。
3-1-04-03	中学校理科入門(第1分野)	中特	8月2日	7	教科書に沿って、第1分野の実験・器具の操作などを本当の基礎から学びます。
3-1-04-34	生徒の興味を高める中・高化学	中高特	7月24日	7	中高一貫校、開成学園中学・高等学校の宮本先生の実践から深く学ぶことができます。
3-1-04-55	天気から学ぶ 気象の学習	中高特	8月1日	13	コンピュータシミュレーションや雲の形や動きを実際に見て、明日の天気を予想する活動から、授業展開を考えます。
3-1-07-02	小学校3・4年音楽基礎	小特	7月19日	3	歌唱やリコーダーの指導、授業づくりについて、基礎から学びます。
3-1-08-05	中学校美術基礎	中高特	8月7日	12	新しい題材の実践発表もあります。共に教材研究をしましょう。
3-1-09-04	中学校家庭基礎B	中高特	8月7日	10	新しい学習指導要領の趣旨をふまえ、先生方と家庭分野の授業づくりを確認します。
2 教育課題別研修					
3-2-08-21	教育法規と学校組織マネジメント	小中高特	8月3日	14	学校危機管理の対応として、教育法規に照らした学校組織マネジメントを学びます。
3-2-08-22	学校評価と学校組織マネジメント	小中高特	8月30日	32	自校の学校評価システムの改善策を検討し、学校運営に反映する手法を学びます。
3-2-08-25	教務主任のための学校組織マネジメントII	小中高特	8月10日	5	課題意識共有の在り方や民間企業の実践をヒントに、自校の教育目標達成への取組を見直しましょう。
3-2-10-24	作問研修(高校数学)	高特	8月3日	17	大学入試問題や問題づくりの講義・演習を通し、生徒の学力向上につながる教科指導の向上を目指します。
3-2-10-25	作問研修(高校英語)	高	8月2日	15	東京外大の根岸雅史先生をお呼びし、学力向上につなげるテスト作りについて考えます。
3-2-01-01	実践と現地に学ぶ人権教育	小中高特	8月23日～8月24日	8	人権教育のあり方について講義や実践発表の他、現地学習の機会を設けて学びます。
3-2-11-01	放射線の理解と学校の安全管理	小中高特	8月22日	19	福島県郡山市立赤木小学校の坂内智之先生の放射線教育の実践を学びます。
3 情報教育研修					
3-3-01-01	情報セキュリティ	小中高特	8月20日	1	校務情報化に伴うセキュリティ上の問題点等について学び、実践力をつけます。
4 産業教育研修					
3-4-11-02	GISを用いた学習教材の作成	小中高特	8月30日	6	実際の統計データを取り込み、数値データを分かりやすく表現する手法の体験と授業への活用方法を学びます。
3-4-13-02	「ビジネス基礎」の新指導法	高(商)	8月24日	7	新単元「ビジネスとコミュニケーション」の授業展開例(ロールプレイング等)について学びます。
5 生徒指導研修					
3-5-02-02	実践！指導に生かす事例研究 小学校	小	8月3日	4	困っている生徒指導の課題について、解決のための方策を仲間と検討します。
3-4-02-03	実践！指導に生かす事例研究 中学校	中	8月22日	4	困っている生徒指導の課題について、解決のための方策を仲間と検討します。
6 特別支援教育研修					
3-6-01-03	発達障害のある子の指導 小4～6年担任	小	8月3日	10	発達障害やその傾向のある児童の理解や支援方法(ビジョントレーニング等)を学びます。
3-6-01-05	高等学校における特別支援教育	高	8月28日	13	発達障害やその傾向のある生徒の理解や支援体制づくり・支援方法について学びます。

追加募集は10日前まで受け付けています。
センターHPで確認して電子申請で申し込みをお願いします。